

吹き抜けが開放的でとても明るいリビング空間。



開放感のある吹き抜けホールに、ロフトへ上がる階段がある。

シンプルにまとまった主寝室。



道南スギの総板張りの外観は、見た目にも環境にもやさしい素材。



手作り感のある洗面コーナー。

掘りごたつ式のダイニングテーブル。

道産木でつくるオーダーキッチン、シンプルでリーズナブル。

「子供たちと、空気のきれいな家に住みたい、  
 「Bio・スタイル」。

有限会社 BioPlus 西條デザイン

本社: 002-8081 札幌市北区百合が原4丁目8-1  
 Tel.011-774-8599 Fax.011-774-8581

伊達支店: 052-0014 伊達市舟岡町50-28  
 Tel.0142-22-0138 Fax.0142-22-0139  
 www.saijo-d.com

©「Natural Lifestyle えこすた」連載中(P40~P43)

資料請求番号  
 12  
 かわいい企業情報はp.157の  
 ビルダ-INDEXをご覧ください。

を選び、化学樹脂無添加の天然糊で施工。下地調整のバテ材も、防腐剤無添加の石灰バテをドイツから取り寄せている。

呼吸する珪藻土の塗り壁は、道内産の珪藻土や火山灰と天然糊を合わせた土壁素材をセレクト。木材用の塗料は亜麻仁油を主成分にする天然系の油性塗料と、ミツロウやカルナバロウなどを主成分とする天然ワックスによる仕上げ。使用する木質材の総量も一般的な住宅の1.5倍から2倍近く多いのが、Bio・スタイルの特徴だ。新聞古紙をリサイクルしたセルロースの断熱材も、呼吸する第三の皮膜としての住まいを形づくるために欠かせない材料である。

さらに、外壁には建築廃木材をリサイクルした、ボード状の断熱材を付加断熱として外張りし、窓の木製3層ガラスと併せて高い断熱性を誇る。省エネにも貢献し、少ないエネルギーで暖かな住まいを実現。無添加で呼吸を妨げない自然素材を選び、北海道産の木にこだわった、健康と環境に妥協しない住まいつくり。それが、Bio・スタイルなのだ。

小さな子どもたち。とりわけこれから生まれてくる赤ちゃんのために、化学物質の臭いのしない自然素材の家を探し求める家族が増えている。床の近くで過ごす赤ちゃんは、まだ免疫力も低く、室内の汚染物質の影響を受けやすい。健康な大人を基準にした室内の空気質対策は、小さな子どもたちにはあてはまらないのだ。ムクの木のプロリングに植物油とミツロウワックスで仕上げた板の間は、小さな命が健やかに成長するのに良い環境となる。

Bio・スタイルの家は化学物質を排除して、気持ちのいい環境を創造。BioPlus西條デザインでは、有機野菜をつくるのと同じように、化学的な成分を使用しないのももちろん、表面的な自然素材や無害の建材だけでなく、見えないところにも気を配っている。土台には薬剤無添加のクリ材やヒバ材を用い、構造材に接着剤で固めた集成材を使うこともない。構造用の合板も一切使用しないので、接着剤の使用量はほんの少量ですむ。一般的な新建材の住宅は、ドラムカン1本以上の接着剤を使っているといわれるが、Bio・スタイルは化学薬剤と接着剤の使用をいかに減らすかを真剣に考えているのだ。

現場施工で使用する天然接着剤には、天然ゴムやミルクゼインなどの天然由来成分がある。壁紙は和紙や布織物の自然素材

江別市 K邸

工法  
 木造在来工法

標準工期  
 120日

プラン  
 フリープラン

写真 ©GINO PHOTO WORKS